



整備中の白石川右岸河川敷

由通路についても、老朽化対策として修繕やトイレの洋式化を図るなど、誰もが安心して快適に利用できるような整備してまいります。

白石川右岸河川敷等

整備事業

県とのコラボ事業として、サイクリング・ウォーキングロードの延伸と休憩スペースの整備に併せ、アクセス道となる町道上谷川原線の道路改良を進めてまいります。さらに、県による高水敷の造成に合わせ、芝生広場やドッグラン、マウンテンバイクコースなどの施設整備を順次行ってまいります。

道路橋梁の整備と維持管理

町道の整備については、「長寿命化計画」に基づき、「上大谷線」などについて、大型車両に対応した舗装構成の改良や打ち換え工事など適正な維持管理に努め、安全で快適な通行を確保してまいります。また、県道について、新開・新寺地区の「蔵王大河原線」や上大谷地区の「白石柴田線」の改良事業が早期に完了するよう関係機関への働きかけを継続してまいります。

大雨による道路の冠水対策については、排水樋門の適正な管理など、被害の軽減に努めてまいります。また、道路排水側溝の整備については、交通安全プログラムに基づき金ヶ瀬地区2路線の側溝有蓋化を進め、通学路の安全確保を図るほか、迅速な修繕・管理を行うてまいります。

公共交通対策

「デマンド型乗合タクシー」の運行については、安全運行を確保しながら、利用者の増加と事業経費の削減に努力してまいります。

上下水道事業

上下水道事業については、計画的な水道施設の改修や配水管の布設替えを行い、有収率及び収納率の向上に努めてまいります。また、水道台帳の整備や管路の耐震化を進め、災害時対応の体制強化を図り「いつでも、安全・安心で、おいしい水」の供給を推進してまいります。

下水道事業については、汚水整備事業として、長寿命化のための更新計画に基づき、老朽化施設の改築・更新を図ります。

雨水整備事業では、鷺沼排水区公共下水道雨水整備事業で実施している5号調整池工事の早期完成を目指すとともに、雨水計画見直しにも着手し、浸水被害の解消に努めてまいります。

町営住宅

「公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な維持管理に努めるとともに、町営上谷住宅の解体及び栄町住宅の外壁改修を進めてまいります。

4 産業・観光

ブランド化とプロモーションで、誰もがはたらくと働けるまち

農業

農業生産基盤については、「人・農地プラン」を推進し、農地の集約化を進め、経営の安定化を支援してまいります。

水田農業では、産地交付金の活用による特色ある産地形成を図り、農家所得の向上を支援してまいります。

農地の保全に関しては、地域活動組織の支援や、「ほ場整備事業計画」の推進、「農業振興地域整備計画」の全体見直しを行います。有害鳥獣対策については、イノシシ捕獲活動への支援を行うとともに、仙南地域各市町が連携し対策を検討してまいります。

特産物については、梅、枝豆、たまねぎなどの特産品化への支援を行い、付加価値を高めた6次産業化を目指してまいります。また、畜産についても、衛生・防疫事業により経営を支援してまいります。

森林環境の保全について

「松くい虫」「ナラ枯れ」などの被害拡大防止対策を講じながら、大高山・天狗森山遊歩道の維持管理に努めてまいります。また、森林経営管理法に基づき「森林整備計画」の策定に着手してまいります。



大高山遊歩道（友遊のみち）

商業・サービス業・工業の振興

商工会と連携を密にして既存商店街等の機能維持と起業・創業支援を含めた街中のにぎわいづくりを力を入れてまいります。また、工業の振興については、川根工業団地の企業の拠点化が進み、雇用増、税収増が期待されてお

ります。企業支援を継続するほか、新しい工場用地等の検討も進めてまいります。

町内商工業事業者に関しましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対する支援を続け、中小企業振興資金融資利子補給をはじめ、経営持続に必要な支援を迅速に行ってまいります。

■ 観光物産の振興

新型コロナウイルス感染症拡大収束の時期を踏まえながら観光イベントを復活させ、観光物産の活気を取り戻してまいります。そのため、一般社団法人となった町観光物産協会が中心的役割を担えるよう支援するとともに、連携を図ってまいります。

一目千本桜に関しましては、町の象徴であり保全・保護に力を入れることはもとより、「東北デスティネーションキャンペーン」「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、情報発信し、シティブロモーションや町のイメージアップに努めてまいります。さらには、「みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議」「みや

ぎ蔵王ハーモニータワー回廊推進協議会」などの広域観光連携の動きを活性化させ、周遊観光の充実を図ってまいります。



サイクルツーリズム

5 学校教育・生涯学習

忘たくましく、

おおらかに学び続けられるまち

■ 学校教育

人的環境整備の主な取組としては、「任期付教職員」「外国語指導助手」「特別支援教育支援員」「学校図書司書補助員」「スクールサポートスタッフ」について継続してまいります。また、国のGIGAスクール構想のもと、急速なICT化を活用し指導できる体制を整えるため、新たに「ICT支援員」を各学校へ配置いたします。さらに、教職員の

■ 労働政策

新型コロナウイルス感染症拡大による対応を含め、公共職業安定所などの関係機関と連携を図りながら、雇用促進や就職支援に取り組みます。
シルバー人材センターについては高齢者の社会参加、心身の健康、支えあう地域づくりなどの様々な貢献が期待されることから、引き続き運営を支援してまいります。



金ヶ瀬中学校卓球部活動指導

働き方改革を推進し、質の高い授業づくりに専念する時間を確保するため、各中学校の「部活動指導員」の増員や、学校給食費管理システムを導入し、公会計化に向けて取り組んでまいります。

教職員の資質と指導力向上のための取組としては、外部講師を招へいしての校内授業研究会や実践的研修などを推進してまいります。

いじめ、不登校の対策としては、子どもの心のケアハウス事業の継続、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員の継続配置により、連携体制の充実を図ります。

確かな学力、豊かな心、健康やかな体の育成に関する取組としては、道徳教育の推進、標準学力テストの活用、算数チャレンジ、数学オリンピック事業、暗唱読本等の活用、仙台大学との連携による体力づくり事業などにより将来の希望を実現させる力を獲得できる子どもたちの育成を進めてまいります。

また、学校運営の改善や児童生徒の健全育成により一層取り組むため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を大河原南小学校に先行して設置いたします。

■ 学校施設の維持管理

建設から55年を超えた大河原中学校体育館の建て替えを進めてまいります。

学校給食につきましましては、地域食材を取り入れた安全安心な給食を提供するとともに、食育を推進してまいります。

■ 生涯学習と社会教育の充実

町民が生きがいを持ち、ゆとりのある人生を送るために様々な学習機会を持つよう、自主的な学習活動を支援するとともに、主催事業も創意工夫しながら展開してまいります。

また、地域学校協働本部を令和3年2月25日に設立したことにより、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるための家庭教育支援、学校教育支援、地域活動支援をより一層推進するとともに、コミュニティ・スクールとの連携を図ってまいります。

文化財の保護と活用については、民俗資料収蔵室の公開と利用促進、企画展を継続的に開催している「佐藤屋プロジェクト」の継続支援を行ってまいります。さらに、史跡説明板などの表示を充実する取組を進めてまいります。